

ヒトの直立姿勢に視点を移すことで、  
下顎の役割が見えてくる!

口腔内をみただけではわからない、上下顎の動きとは?

目前の現象(事実)に基づいた考察をハンディに解説。

# 下顎平衡機能から考える 直立二足歩行と歯科医療

白井五郎 著

■ A5判/96頁/2色  
■ 定価(本体 3,800円+税)  
ISBN978-4-263-44484-9



本書では「顎の上下がどのように動いているか」に注目し、形態論をはなれ論理展開しました。

時間軸を含めた四次元の視点、つまり「動態論」による歯科医学です。動態は形態を包含する関係にあります。

「ヒトの基本動作である直立二足歩行における頭部と顎の運動軌跡、そしてヒトそれぞれ固有の運動軌跡」の理解により、その接触面である咬合曲面をどのように修正すればよいかが見えてきます。

おそらくこの「動態論」が100年来続いてきた咬合論争に終止符を打つ、基本的な思考法です。

〈「はじめに」より 抜粋〉

## 目次

### 第1章

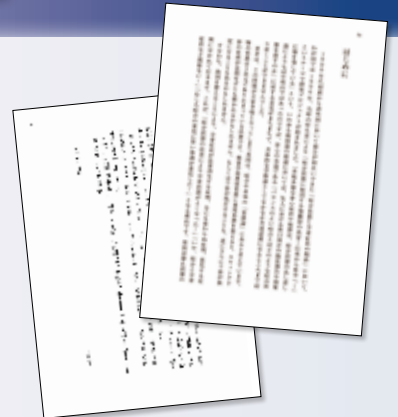
直立歯科医学のすすめ

### 第2章

ヒト直立における  
下顎骨の役割とスウィング医療

### 第3章

スウィング医療のケース研究



# 下顎平衡機能から考える直立二足歩行と歯科医療

## 目次

### 第1章 直立歯科医学のすすめ

歯はヒトの直立を支える局部  
自然人類学にみるヒトの特性  
歯科に欠かせない直立姿勢への視点  
いま求められる、自然人類学的視点からみた治療法

### 第2章 ヒト直立における下顎骨の役割とスウィング医療

ヒト直立における下顎骨の役割  
直立に必要な構造  
ヒト直立における舌体の役割  
直立平衡における上部頭蓋と下顎骨の揺れ方を知る  
顎位診断による固有スウィングの把握  
スウィング干渉部位が多くの歯科疾患を発症させている  
スウィング支持とスウィングキーパー

頭を起こすスウィング医療 —直立ステージで繋がる歯科各論—  
ヒトは弦が振動するように動く  
ヒト直立のための三叉神経 —転倒を防ぐトリックモーション—  
さまざまな口腔習癖と直立平衡不良の関係  
姿勢改善で鼻づまりが治ることが意味するもの  
さまざまな治療法

### 第3章 スウィング医療のケース研究

不定愁訴とスウィング干渉・スウィングキーパーロス  
全体平衡を守るための局部破壊 —壊れるようにできている—  
平衡機能的適応としての顎骨形態の変化  
スピー彎曲の形成と変曲点、咬合高径との関係  
一般歯科の臨床実例  
全身レベルで見た「破壊現象の新法則」

## ヒト直立からみた歯科医学研究の楽しさ —人類学的見地から

人類の進化は、アウストラロ・ピテクスと呼ばれる猿人によって始まりました。彼らは400万年前の時点ですでに樹上からサバンナへ降り立ち、草原を直立二足歩行して生息領域が広がっていったようです。この生物学的特性を研究する領域は「形質人類学」もしくは「自然人類学」と呼ばれるのでしょうか。

歯科医学のこれからを考えると、人類の進化がたどった足跡が示す数々の展開に気を配ることが大切であると思います。直立二足歩行を行った最初の生物はアウストラロ・ピテクスであり、アフリカの南部や東部に住んでいたようです。しかしながら、150万年前を過

ぎる頃には姿を消してしまったようです。片や新たな種が現れ、その末に現生人類が存続しています。それはどうしてでしょうか。

改めて人類学領域の方々のこれまでの研鑽に心から敬意を表します。推薦の序を締めくくるにあたり想うところは、本編で解説される「ヒト直立からみた歯科臨床におけるスウィング現象の発見」が、未明であった人類進化の謎解きを推し進めるのでは……という楽しみです。

〈推薦の序 伊藤学而（鹿児島大学名誉教授）より 抜粋〉

## 医歯薬出版 ご注文承り書

### 下顎平衡機能から考える直立二足歩行と歯科医療

( )冊

●納入店ご指定希望 (ご指定納入店名)  
※納入店のご指定の場合  
手数料はかかりません。

●直送希望 ①  代引 450円  
(2つの方法から  
お選びください。) ②  後払い 400円\*

※②の後払いの請求書は  
(株)ネットプロテクションズ  
から別送となります。

●お名前

●TEL

●ご住所 (〒 — )

★必要事項をご記入のうえ、FAX.03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ<http://www.ishiyaku.co.jp/>からもご注文いただけます。

医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL03-5395-7630